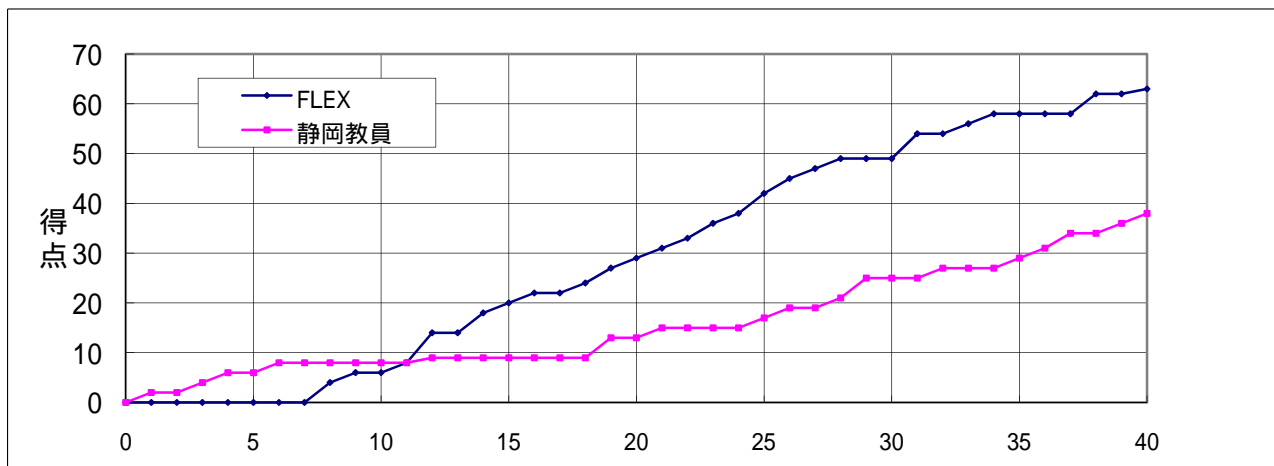


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	10E2	11:45	女子2回戦															
	期日	2010年(平成22年)8月10日(火)	FLEX 63 (兵庫県)	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>-</td><td>8</td></tr> <tr><td>23</td><td>-</td><td>5</td></tr> <tr><td>20</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	6	-	8	23	-	5	20	-	12	14	-	13	-	-	-
					6	-	8												
23	-	5																	
20	-	12																	
14	-	13																	
-	-	-																	
会場	下松スポーツ公園体育館	38 静岡教員 (静岡県)	主審 渡辺博史	副審 松富仁美															



タイム・アウト(経過時間)						
1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2			
05:23	-	-	-	-	-	-

FLEX									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	* 天津 満保 (C)	10	0	4	2	1	6	1	
5	住友 麻衣	0	0	0	0	2	1	0	
6	* 周 舞華	4	0	2	0	2	6	0	
7	塚本 恵理	4	0	2	0	0	2	2	
8	鄭 碧華	0	0	0	0	1	3	1	
9	大森 さやか	4	0	2	0	0	3	0	
10	* 溝口 陽子	16	1	6	1	1	3	1	
11	菅原 美希	0	0	0	0	0	0	0	
12	* 早崎 愛華	3	0	1	1	0	1	1	
13	中谷 仁美	3	1	0	0	0	0	0	
14	杉本 真由美	1	0	0	1	0	1	0	
15	* 中島 亜紀子	10	2	2	0	1	1	0	
16	真多 優子	2	0	1	0	2	4	4	
17	植坂 友美	4	0	2	0	1	0	1	
18	乃一 倫子	2	0	1	0	0	1	1	
コーチ	春名 桂								
合計		63	4	23	5	11	32	12	

タイム・アウト(経過時間)						
1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2			
08:03	14:36	32:59	35:31	-	-	-

静岡教員									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	伊藤 浩子	2	0	1	0	0	2	0	
5	* 原田 真樹 (C)	15	0	6	3	2	3	1	
6	渋谷 裕美	2	0	1	0	1	0	1	
7	* 本間 瞳	6	0	3	0	0	5	0	
8	伊吹 恵子	2	0	1	0	5	2	1	
9	* 八木 麻由美	6	0	3	0	0	6	0	
10	* 遠上 翠	2	0	1	0	1	5	0	
11	勝間田 文乃	-	-	-	-	-	-	-	
12	町田 由香里	-	-	-	-	-	-	-	
13	* 吉永 光希	3	1	0	0	0	0	1	
15	前林 ひとみ	-	-	-	-	-	-	-	
16	森 早紀子	-	-	-	-	-	-	-	
17	中村 友美	-	-	-	-	-	-	-	
コーチ	伊吹 恵子								
合計		38	1	16	3	9	23	4	

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

両チームハーフコートマンツーマンでスタート。静岡#7の連続得点でスタートするが、その後チャンスはあるが得点できない。対するFLEXも静岡のディフェンスを崩すことができず、3ポイントシュートを打つも得点できない。しかし、FLEXはターンオーバーからの速攻が出て得点していく。開始7分あたりからFLEXが流れをつかむが、思うように得点できず6-8と静岡リードで1Qが終了。2Q開始開始直後リバウンドをFLEXが取り、同点に追いつくと#13、#10が3ポイントシュートを決め徐々に点差を広げていく。静岡はハイポストを使い攻撃を仕掛けるが得点につなげられず、逆にFLEXに速攻を決められていく。この展開のまま、29-13とFLEXリードで2Qが終了。3Q開始後なかなか両者攻めきれない、開始2分45秒FLEX#15の3Pシュートを皮切りにターンオーバーからの速攻により連続得点を決め点差が広がっていく。残り2分30秒あたりから静岡#5がドリブルによる突破から得点につなげていくが点差をつめることができずに25-49とFLEXリードで3Q終了。4Q開始後、FLEX#13の3Pシュートなどで点差が広がるかに見えたが、静岡も粘り、一進一退の攻防。開始5分静岡はFLEXのターンオーバーからの速攻に対応しきれず点差は広がっていく。2QからリズムをつかんだFLEXがリードを保ったまま、63-38でFLEXの勝利で終了した。

記者 橋本 祥宏 (所属) 山口県バスケットボール協会